



Lions Clubs International District 336-B 7R-1Z

6LC合同会報誌



ライオンズクラブ国際協会336-B地区

地区アクティビティ・スローガン 『“心技一体” 地域を元気に!』

地区ガバナー・スローガン 『和合』

新年のご挨拶

7R1Z ゾーンチェアパーソン
上杉 榮一



新年あけましておめでとうございます。皆様には穏やかな新年をお迎えのことと存じます。

ゾーンチェアパーソンを拝命して、半年が経過しました。

各クラブへの例会訪問では、丁重にお迎えいただき心より感謝申し上げます。例会の進行は基本的にどのクラブも同様ですが、それぞれ工夫を凝らした内容は、大変参考になりました。

そして、台風進路を気にしながら開催した「ガバナー公式訪問」も皆様のご協力のもと、恙なく終えることができました。

コロナ渦の3年間は、活動の停滞に伴い会員の退会が相次ぎましたが、令和5年5月に感染症法上5類に移行して以降、新入会員は増加傾向ですが、退会者も同様でかろうじて現状を維持している状況です。

新規会員の加入促進はもとより、退会者を如何に止めていくのか、今後の大きな課題と考えます。そのためには、会員にとって所属のクラブが有意義で楽しいものではなくてはなりません。

ライオンズクラブは、世界最大の奉仕団体といわれています。

私は、奉仕活動(ボランティア)は、二通りあると考えています。

一つは、町内会や自治会、PTA等のボランティア、一般的には役員と呼ばれていますが、地域や学校の社会教育活動におけるボランティア、できればやりたくないが、やむを得ず活動している「滅私奉公型」のボランティア。

一方、災害ボランティアのように、自ら進んで被災地に出かけ、復旧作業等に従事するボランティア「モチベーションアップ型」があると考えます。

翻って、私たちのライオンズクラブはどうでしょう。

会費を支払い、毎月の例会に参加することに負担を感じてはいませんか。自ら進んでボランティア活動団体であるライオンズクラブの会員であることは、クラブの活動が楽しく充実してなければ長く続きません。

会員の加入促進と退会者の減少防止には、ライオンズクラブの魅力向上が不可欠です。

各クラブに於かれましては、一層の魅力向上と参加することが楽しいクラブになるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

今年度も後半となりましたが、皆様のご協力のもと全力で取り組むこととお約束して年頭の御挨拶とします。

風紋

鳥取ライオンズクラブ

会長スローガン「魅力的で活力あるクラブで地域を元気に」

新年のあいさつ



鳥取ライオンズクラブ 会長 西尾 慎一

会員の皆様、新年おめでとうございます。謹んで新春のお喜びを申し上げます。

新年を迎え、2024-2025年度も丁度折り返し点、前半に計画された奉仕活動等の事業や行事は予定通りに行う事が出来ました。これも偏に皆様方の一方ならぬご努力ご協力の賜物と感謝申し上げる次第でございます。

さて、私たちはライオンズクラブの原点に立ち返り、“We Serve”のモットーの下、世界最大の奉仕団体であるという存在意義をしっかりと地域社会に知らしめなければならないと思います。そのためには、クラブが元気であること、メンバー全員がしっかりとライオンズクラブについて知ること、そして地域社会のニーズをしっかりと把握しどう奉仕活動をすべきか考え行動する事が重要であると考えております。

残された期間、魅力的かつ活気有るクラブを目指して、又、地域の方々から必要のあるクラブとして認識されるように頑張っていきますのでどうか宜しくお願いいたします。

この新しい年が会員の皆様にとってより佳き年となりますよう心より祈念しております。



鳥取ライオンズクラブ 幹事 古田 昌己

今年度、鳥取ライオンズクラブ幹事を拝命いたしました古田昌己と申します。

私なりの理解では、クラブ幹事には、会長を補佐し、クラブ運営が円滑に進むようにするという役割があるものと考えております。私の能力や経験からすると、そのような役割を十分に果たすことができるかは疑問がありますが、まずは与えられた役割を一生懸命果たそうとする心構えを持つことが大切だと考えております。

当クラブは、アクティビティとして、新しくやり始めたものやこれから始めようというものがあります。また、従前より継続して行っているアクティビティもあります。どのアクティビティも社会奉仕を旨とするライオンズクラブの活動として誇れるものです。そのような活動を充実したものとするにはやはり会員の皆様の結束や協力が必要となります。負担ばかりとなってしまえば、会員の皆様がやりがいを感じないということになり、新たな会員の獲得にもつながりません。したがって、私としましては、会長のサポートを通じて、会員の皆様が楽しくクラブ活動ができるよう心掛けたいと思っております。

本来の幹事として求められる役割を追い求めつつ、私なりに、クラブの一員としてできることを精いっぱいさせていただきます。皆様のご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。



街頭献血活動に参加して

会員委員長 福家 成夫

12月8日(日)10:30~16:00イオンモール 鳥取北店1Fにて街頭献血活動を行いました。例年どおり、鳥取ライオンズクラブの黄色いジャンパーを着て、胸にプラカードを掲げての献血協力呼び掛けを行いました。今年も3つの時間帯に分けて、参加メンバー8名(少数精鋭部隊です)で分担しました。また、学生ボランティアの方が4名も参加され、元気な声で献血協力に貢献して頂きました。当日はあいにくの雨と強風で客足が遠のくのではと心配しましたが、季節柄でしょうか、店内は家族連れを中心としたお客でにぎわっており、駐車場もほぼ満車でした。(自分の車を駐車する所がなかなか見つからず、多いに焦りましたが…)

その結果、実績は、53名の受付中、51名の献血をあげることが出来ました。昨年在58名受付、54名献血と少し下回りましたが、目標の50名達成できて喜ばしく思います。(会員自身が献血された方も数名で目標達成出来ました、ありがとうございました)

今回、参加されたメンバーの方、お疲れさまでした。また、献血にご協力いただいた方、ありがとうございました。来年は、目指せ60名ですね。



新たなアクティビティの開拓

青少年健全育成委員長 小林 紀子

昨年は、初めて「ポレポレキッズ」という新たなアクティビティを手掛けました。ポレポレキッズとは、鳥取大学の学生が中心となってやっている活動で、子どもと学生や大人が体験的で継続的な活動を通して育ちあうことを目的とするものです。宿泊体験やデイキャンプといった活動を行い、非日常的な活動を通して、子どもの育成、青年の自己啓発と地域の青少年育成活動の活性化を目指しています。鳥取ライオンズクラブもその活動に参加し、人的・財政的支援を行ないました。

もう一つは、まだ検討中ではありますが、NPO法人「こども未来ネットワーク」の活動に対する支援です。この団体は、0才から小学生までを対象に、こどもの感性を育てる「アートプロジェクト」、大人の理解がこどもを守る「メディアプロジェクト」、おもちゃはこどものパートナーの「トイプロジェクト」を行なっています。幼い時の子育ては母親にまかせっきりという家庭も多いと思いますが、0才からプロの芸術に触れさせようとするアートスタートを始め、スマホ時代の子育てのあり方を勉強したり、ネットからのこどもの被害を食い止めるためのネットパトロールや、木のおもちゃを



使った体験会などここに書き切れないほどの取り組みをしておられます。10月には3名の方が例会においになり、活動アピールをされました。活動の中心は忙しいお母さんたちであるため、力仕事や受付などに人手が足りていません。こどもは目を離すことが出来ませんので、見張り役でもいいそうです。また、公的な補助金が減少しており財政的な支援も必要なようです。今後検討を重ね、支援できるようになれば良いと思っています。



若草学園とのイモ掘り大会

指導力育成委員長 松本 匡司郎

私がライオンズクラブに入る前から、数十年続いているアクティビティです。クラブ全員が携わるのは、6月に行なう畝づくり、雑草対策のマルチシート掛け、苗付け、8月の雑草取り、10月の芋づるの刈り取り、マルチシート剥がし、芋掘りなどが主なものです。あまり知られていませんが、それまでの準備はL船越が1人でやっておられます。それは、種芋の植え付けから始まります。前年収穫したイモのうち、元気そうなものを種芋として3月に土中に埋め込みます。まだ気温が低い時期なので発芽を促すために土中に熱線を埋め込んで保温します。それを苗になるまで育てて、植え付けに繋いでいくということです。一連の流れを見ると苗づくりから収穫まで7ヶ月かかるんですね。焼き芋を食べられることに改めて感謝申し上げます。

この写真は、芋掘り当日の写真です。マルチシート剥がし、イモ弦の伐採、イモの掘り起こしまで一気にやりますので、体力が続きません。今回は8人で作業しましたが、翌日は仕事になりませんでした。今年の出来は、まずまずと言ったところですが、一番難しいのは、掘り起こしの程度です。完全に引っこ抜くとイモ拾いになってしまいますし、起こし足りないと、こどもの手では抜くことが出来ません。これは経験を積みしかないですね。また、イモを掘り起こす時に、二人一組で両方からスコップを入れるのですが、思いがけないところに根を張っており、イモを切ってしまうことがあります。これも慣れしかありません。このイモは11月に学園で行なわれる焼きイモ大会で振舞われます。何度か参加しましたが、豚汁やおにぎりなどと一緒に食べる焼きイモの味は最高です。今年も無事に開催出来てありがとうございました。



獅子

鳥取中央ライオンズクラブ

会長スローガン 「笑顔でひとつに 奉仕のこころ」

新年のあいさつ



鳥取中央ライオンズクラブ会長 福田佳代子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は鳥取中央ライオンズクラブの活動にご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。本年も何卒宜しく願い申し上げます。

昨年は能登半島での地震、豪雨による災害をはじめ、全国各地で災害が起こりました。毎年のように災害が起こっておりますが、その都度ライオンズクラブは被災地への支援を行っており、存在意義を改めて認識した1年となりました。

鳥取では大きな災害が起こることは多くありませんが、災害に限らず支援を必要とされている地域、人々へ単L Cまたは6LC合同の活動を通じて、これからも貢献できるよう一層精進していく所存です。

みなさまのご多幸とご健勝を、そして世界が少しでも平和になりますことを祈念いたしまして結びの言葉といたします。



鳥取中央ライオンズクラブ幹事 加藤 貴義

新年あけましておめでとうございます。

認証60年を超える歴史あるクラブに入会させていただき6年目となります。

そのクラブの幹事が務まるのかと恐縮しながら拝命いたしました。先輩である福田会長を盛り上げるつもりが、逆に助けていただく事が多く心配とご迷惑をかけている、そんな状況となっておりますが福田会長には本当に感謝しております。

7月から新年度が始まり約半年たちましたが、後半戦に向けて中央ライオンズクラブ及び福田会長を盛り立てて行けるよう努力致したいと思います。

またライオンズクラブ分科会などでもゴルフやお酒の席など例会以外の場面でもクラブの事について相談するなどして皆さんに助けて頂いており、本当に皆さんに感謝をする役どころだと感じております。

若い会員も着々と増えておりますが、クラブの歴史を継承しながら事業に邁進していきたいと思っております。

青谷こども学園さんとの地引網を通じた交流、また沖縄の愛隣園さんへの訪問などコロナにより、なかなか交流が難しい期間もありましたが、今後もそういった事業を継続していき、子供たちの笑顔を絶やさない事の一端を担えれば幸いです。

最後になりますが、今後のクラブの発展と子供たちの未来を祈念いたしまして、新年のあいさつといたしたいと思います。

青谷こども学園との 地引網・バーベキュー交流事業

児童養護施設「青谷こども学園」とは季節に応じて様々に交流を続けており、毎年6月は生き物の大切さを育んでほしいとカブトムシの成虫を飼育ケースに入れて寄贈を、12月にはXmasケーキやお菓子の袋詰め合せなどをもって施設を訪問しています。その中で、日頃できないような体験をと、昨年7月7日（日）浜浦富自治会主催の「地引網大会とバーベキュー」に学園の子ども達、職員の皆さんを招待して当メンバーとその家族も加わり総勢80名で交流を深めました。

当日は送迎担当が午前9時にバスで青谷こども学園に迎えに行き、開催場所の浦富海岸で合流の後、早速二手に分かれて地引網体験をしました。ワクワクしながらロープを引いていきますが炎天下の海辺では体力がいる作業で、やっと網があがると大歓声が沸き一目散に駆け寄っていました。獲れたての魚を刺身でいただきバーベキューも様々な肉に貝類に野菜にと焼いて汗をかきかき真夏の一時を過ごしました。

屋外のため風雨や荒天で地引き網中止に備えて別バーベキュー場を確保したり食材準備や熱中症対策に飲料水・テントなど事前準備から後片づけまで協力して頂いた皆様有難うございました。





第10回鳥取中央ライオンズクラブ 親睦ゴルフコンペ開催

広岩 勝彦

師走に入った12月1日、旭国際浜村温泉ゴルフクラブで親睦ゴルフコンペを参加者(30代から80代)30名で開催いたしました。このゴルフコンペは現役のクラブ会員と退会されていった会員とを繋いでいくために毎年1回開催しています。昨年までは寒い時期の開催にも関わらず参加していただいていた最高齢の山田克己さん、そして佐藤浩尉さんの参加が今回無かったのは残念でした。懐かしい顔に会えるのも元気な姿を見せていただけるのもうれしいものです。開会式では福田会長の挨拶をいただき、全員で記念写真を撮りました。当日は12月には珍しく良い天気でボールを追いかけて歩いて走っていると汗ばむほどで、お昼のビールは各テーブルともかなり進んでいたように見受けられました。スコアは別物で和気藹々とゴルフも終わり成績発表へ。今回は優勝・準優勝・3位までは井崎さんから松葉ガニ・親ガニセット、飛び賞とNP・DCは岸田さんから漬物セット、参加賞は中井さんからあたご梨、また佐藤さん・表さんから提供していただいたゴルフボールはそれなりの方に、そして今回の優勝者は水野由久さん、何故かお馬さんも一人どり。おめでとうございます!皆様から頂いた14,000円はクラブヘッドネーションとさせていただきます。参加していただいた皆様に感謝いたします。

また来年も沢山の参加をお待ちしております。



第35回6LC親善ボウリング大会を終えて

各クラブとの交流の場として6LC親善ボウリング大会が35回目を迎え今回ホストクラブとして運営にあたり、皆様のご協力のもと無事に終えることができ感謝申し上げます。令和6年11月22日(金)鳥取スターボウルにおいて参加人数43名の精鋭が集い各レーンでストライクやスペアではハイタッチの渦が、ガーターではうなだれるも次は!と一喜一憂の熱戦が繰り広げられ、結果は最終ページ記載の通りとなりました。当クラブ個人の部で6位茶谷さん、7位田中元さん、8位廣岩さん、12位江原さん、18位池内さん、団体戦は準優勝のトロフィーを手にしました。参加された皆様本当に有難うございました。

